

## V 調査研究

調査研究事業は、感染症情報センターの専門的機能の維持向上に不可欠な活動であり、衛生研究所の機能の一つに位置付けられている。ここでは、各担当の業務に関連した調査研究を紹介する。

### 1 研究事業

令和4年度は、厚生労働科学研究等6件の研究事業を実施した。

#### (1) 厚生労働科学研究

a. 食品由来感染症の病原体情報の解析手法および共有化システムの構築のための研究

埼玉県で分離された腸管出血性大腸菌について、MLVA法等の分子疫学的手法で解析を進めた。

b. 食品の安全確保推進研究事業：「全国地研ネットワークに基づく食品およびヒトから分離されるサルモネラ、大腸菌、カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査」

埼玉県におけるヒト及び食品由来のサルモネラ等の疫学的・遺伝学的な解析を行い、食品由来薬剤耐性菌の動向を把握する調査・研究を行った。

c. 今後の新興感染症の発生時に備えたサーベイランス戦略と枠組みの開発

地方感染症情報センターの感染症情報発信力を強化することで、地域住民への情報提供の推進を目的とした地方感染症情報センターに関するアンケート調査に参加した。日本公衆衛生学会自由集会で意見交換を行い、サーベイランスの強化に役立てた。

d. 新型及び季節性インフルエンザに係る流行株の予測等に資するサーベイランス及びゲノム解析に関する研究

パンデミックにおける流行フェーズに応じたサーベイランス体制のあり方の分担研究に参加し、「病原体サーベイランス」について令和2年1月から4月に当所で実施した病原体検索の結果から **Integrated sentinel surveillance of viruses of pandemic potential** について国策としての方針決定の必要性を述べた。

#### (2) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

a. 病原体ゲノミクス・サーベイランスを基盤とした公衆衛生対策への利活用に係る研究

b. 麻疹・風疹排除に資する持続可能なサーベイランスに関する研究

## 2 学会発表

学会発表等、研究成果の外部への公表は、5件行った(表V-2-1)。

表 V-2-1 令和4年度学会等報告

No.	演 題 名	研究者名	学 会 名	発表年
1	埼玉県におけるCOVID-19ワクチン接種による死亡及び重症化リスクの軽減効果	宜保輝、鈴木理央、安藤紗絵子、尾上恵子、尾関由姫恵、岸本剛、本田麻夫	第81回日本公衆衛生学会総会	2022
2	埼玉県における新型コロナウイルスの主流系統の推移について	江原勇登 内田和江 岸本剛 本多麻夫	第81回日本公衆衛生学会総会	2022
3	埼玉県における手足口病及びヘルパンギーナ疑い症例からのエンテロウイルス検出状況について	今泉晴喜 富岡恭子 江原勇登 濱本紀子 大崎哲 宮下広大 牧野由幸 黒沢博基 川島都司樹 内田和江	第36回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会	2022
4	埼玉県における赤痢菌の検出(1990年～2020年)	佐藤孝志 牟田萌枝子 石井明日菜 倉園貴至 福島浩一 岸本 剛	第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会	2023
5	埼玉県衛生研究所におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分離状況(2018～2022)	吉澤和希 小林 匠 倉園貴至 佐藤孝志 近真理奈	第35回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会	2023

### 3 論文発表

雑誌等への研究成果の外部への報告は、13件行った(表V-3-1)。

表V-3-1 令和4年度雑誌等報告

No.	題名	著者名	誌名	発表年
1	A Study from the First QFT-Plus Test's TB Value of Examinees with 29 Positives for the Retest, and a Comparative Study of the Retest Rate of QuantiFERON®TB Gold Plus and QuantiFERON®TB Gold	Asuna Ishii, Kyoko Tomioka and Hirokazu Fukushima	Kekkaku Vol. 97, No. 5 : 263-267, 2022	2022
2	腸管出血性大腸菌複数回分離患者株のMLVAにおけるリポート数の変化	佐藤孝志 牟田萌枝子 塚本展子 倉園貴至 福島浩一 岸本 剛 本多麻夫	日本臨床微生物学会雑誌 33(1), 12-17, 2023	2023
3	感染症発生動向調査に基づく埼玉県の患者発生状況—2021年—	宜保輝 鈴木梨央 小菅隆裕 尾上恵子 尾関由姫恵	埼玉県衛生研究所報 56, 43-55, 2022	2022
4	埼玉県の腸管系病原菌検出状況(2021)	佐藤孝志 牟田萌枝子 石井明日菜 倉園貴至 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 56, 56-57, 2022	2022
5	埼玉県で分離されたヒト由来サルモネラの血清型と薬剤感受性(2021)	佐藤孝志 牟田萌枝子 石井明日菜 倉園貴至 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 56, 58-59, 2022	2022
6	埼玉県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検査状況(平成28~令和3年度)	小林匠 塚本展子 倉園貴至 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 56, 60-62, 2022	2022
7	埼玉県におけるIGRA検査の実施状況(2021年)	石井明日菜 吉澤和希 石澤文菜 富岡恭子 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 56, 63-65, 2022	2022
8	埼玉県における結核菌分子疫学調査の実施状況について(平成28年度~令和3年度)	吉澤和希 牟田萌枝子 石澤文菜 石井明日菜 富岡恭子 福島浩一	埼玉県衛生研究所報 56, 66-69, 2022	2022
9	新型コロナウイルスにおけるリアルタイムPCR検査, 変異株スクリーニング検査及びゲノム解析結果(2020年1月~2022年3月)	江原勇登 鈴木典子 大崎哲 青沼えり 篠原美千代 宮下広大 牧野由幸 川島都司樹 内田和江	埼玉県衛生研究所報 56, 70-73, 2022	2022
10	感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況(2021年度)	大崎哲 鈴木典子 江原勇登 青沼えり 篠原美千代 宮下広大 牧野由幸 川島都司樹 内田和江	埼玉県衛生研究所報 56, 74-76, 2022	2022
11	感染症流行予測調査(令和3年度)	大崎哲 鈴木典子 江原勇登 青沼えり 篠原美千代 宮下広大 牧野由幸 川島都司樹 内田和江	埼玉県衛生研究所報 56, 77-78, 2022	2022
12	埼玉県における食中毒関連検査のウイルス検出状況(2021年度)	宮下広大 鈴木典子 江原勇登 篠原美千代 大崎哲 青沼えり 牧野由幸 川島都司樹 内田和江	埼玉県衛生研究所報 56, 79-83, 2022	2022
13	埼玉県におけるアデノウイルスの検出状況について	川島都司樹 鈴木典子 江原勇登 大崎哲 青沼えり 篠原美千代 宮下広大 牧野由幸 内田和江	埼玉県衛生研究所報 56, 84-88, 2022	2022